

評価問題例

意見文に取り組む前に、「コミュニケーション」の辞書的な意味と、本文における使い方について確認する。

- 1 「コミュニケーション」の意味を国語辞典や百科事典を使って調べ、簡潔にまとめなさい。
- 2 本文では、クジラのどのような行為をコミュニケーションといているか、簡潔にまとめなさい。

状況設定を生徒にとって身近なものにすることにより、意欲的に取り組めるよう工夫する。

- 3 課題「意見文の作成」
 - ・「コミュニケーションで大切なこと」という題の意見文を、次の条件にしたがって書きなさい。

条件

- ① どのような場面でのことか、具体的に書くこと。
- ② なぜ大切なのか、その理由を書くこと。
- ③ 句読点も含め、180字～200字で書くこと。

選材（自分の考えや気持ちを的確に表すために、適切な材料を選ぶこと）について、段階的に考えることができるように指導する。

- (1) 「コミュニケーション」について、あなたの体験の中で「うまくいった例」、「失敗した例」をいくつか書き出しなさい。
- (2) 「コミュニケーションで大切なこと」という題で説得力のある意見文を書くに当たって、適当な例（場面）を(1)の体験の中から一つ選びなさい。（「選材」）
- (3) (2)の例から、「コミュニケーションで大切なこと」は何か考え、あなたの意見をまとめなさい。（「意見」をまとめる。）
- (4) なぜ、(3)のことが大切だといえるのか、その理由を書きなさい。（「根拠」）

構成を考えながら、自分の書きたい内容を整理する。(まとめる段階)

- (5) 構成を考える。
(意見、場面・理由を整理し、まとめる。)

記述(書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くこと。)

- (6) 書く。
(構成に合わせ、字数に注意して作文にまとめる。)

- (7) 推敲する。
(書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にする。)

評価問題のポイント

- 1 文章作成過程を大切にす。 「選材」「構成」「記述」に重点を置いて指導する。
(参考 京の国語力向上のための国語科カリキュラム改善資料「書くこと」の指導過程)

京の国語力向上のための国語科カリキュラム改善資料「書くこと」の指導過程はこちら

CLICK

文章作成過程については、改善資料に示した文章様式も観点に入れて「どの学年、どの単元で、どの過程に重点を置くべきか。」について考え、系統的、段階的に指導する。

- 2 生徒に、客観的で分かりやすい評価のポイントを示す。
(「国語『クジラたちの声』プリント *自己評価のポイント」参照)

「国語『クジラたちの声』プリント」はこちら

CLICK

- 1 表記、表現は正しいか。
- 2 出題要件を満たしているか。
 - ① どのような場面でのことか、具体的に書いている。
 - ② なぜ大切なのか、具体的な場面と関連付けて、その理由を書いている。
 - ③ 句読点も含め、180字～200字で書いている。
- 3 全体を通して、構成を工夫し適切な場面、理由(根拠)を挙げて、説得力のある意見を述べているか。